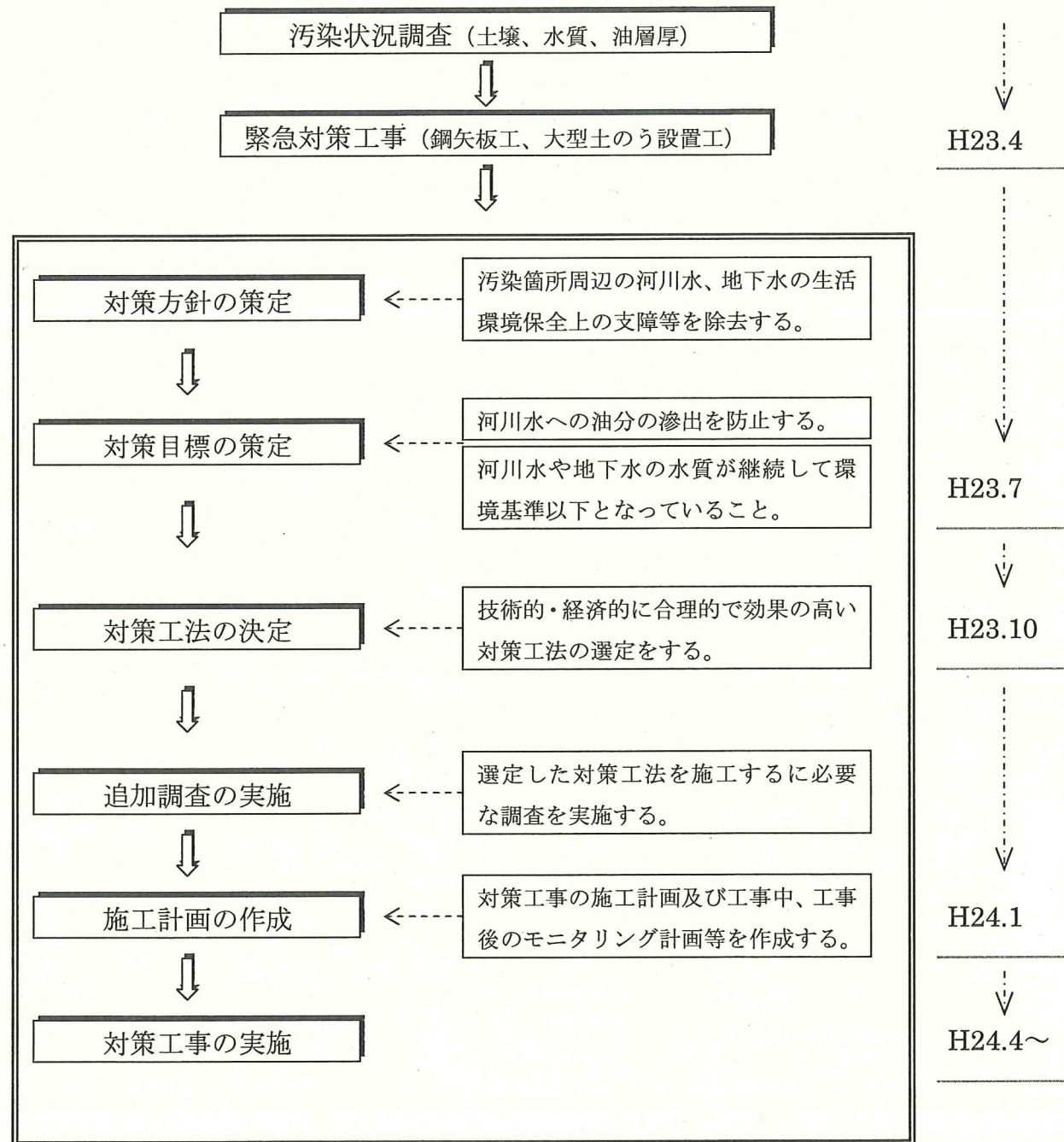


対策工について

1. 目的

桑名市大字五反田字源十郎新田地内の員弁川左岸河川敷において、PCB や VOC を含む油による汚染の環境修復について、長期的な安全確保の視点から、技術的かつ経済的に合理的な恒久対策について検討を行う。

2. 対策の進め方



3. 対策方針について

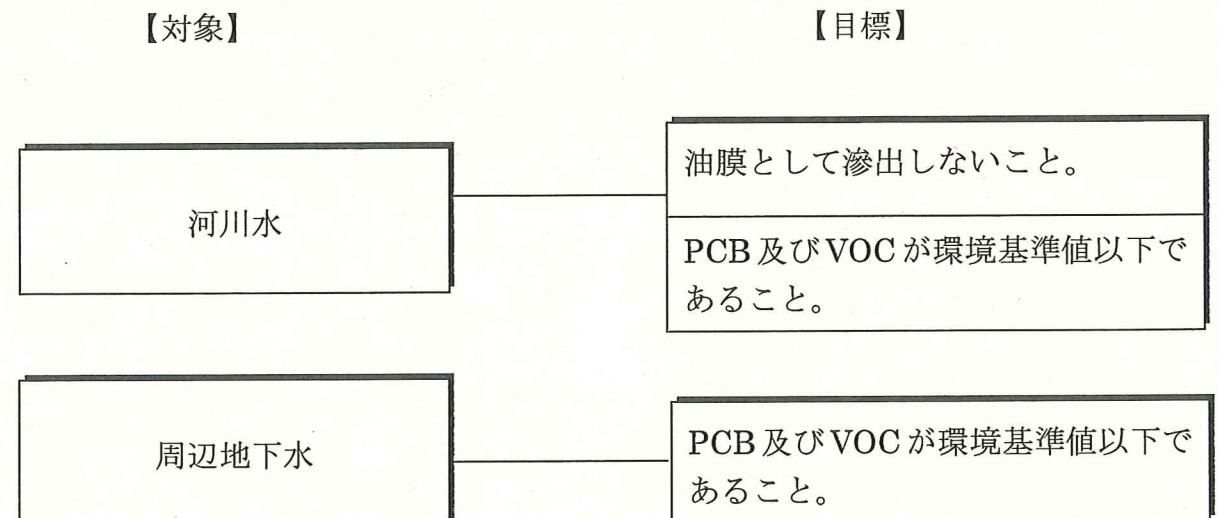
周辺環境への影響を把握するために、当該地内外の観測井戸における地下水及び河川水の水質調査を実施しており、これまでの調査では、全て環境基準値以下となっている。

緊急対策として、鋼矢板の設置により河川下流域への汚染区域の拡散は防止できているが、今後、将来にわたり利水等に不安を感じることがないように、確実に河川水及び地下水が保全される措置を講じるものとする。

4. 対策目標について

生活環境保全上の支障の原因は、河川水及び地下水を汚染する PCB や VOC を含む油分である。当該場所で検出されている PCB の汚染源は不明であり、当該 PCB で汚染された廃棄物の処理については、現在、国内における処理施設の整備が十分でないことから、処理が困難になっている。こうしたことから、対策は、緊急性があり、迅速に実施する必要があるが、実現可能性の観点から現実的な目標とする必要がある。

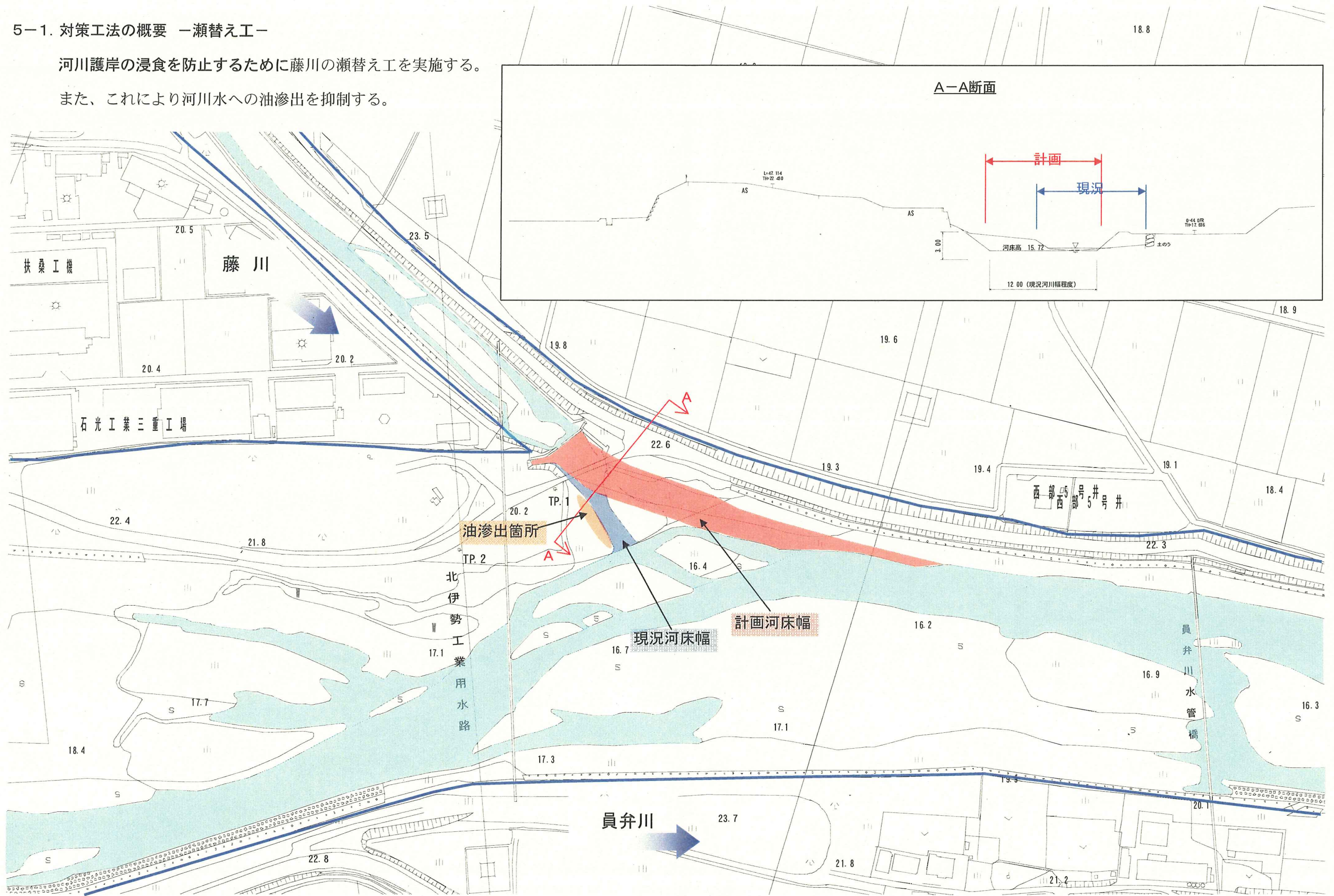
- したがって、次の目標を設定する。
- ① PCB や VOC を含む油分が地下水の流れと変動により移動・拡散し、河川水への油膜として滲出しない状態とすること。
 - ② 河川水や地下水で継続して PCB、VOC が環境基準値以下であること。



5-1. 対策工法の概要 - 瀬替え工 -

河川護岸の浸食を防止するために藤川の瀬替え工を実施する。

また、これにより河川水への油滲出を抑制する。

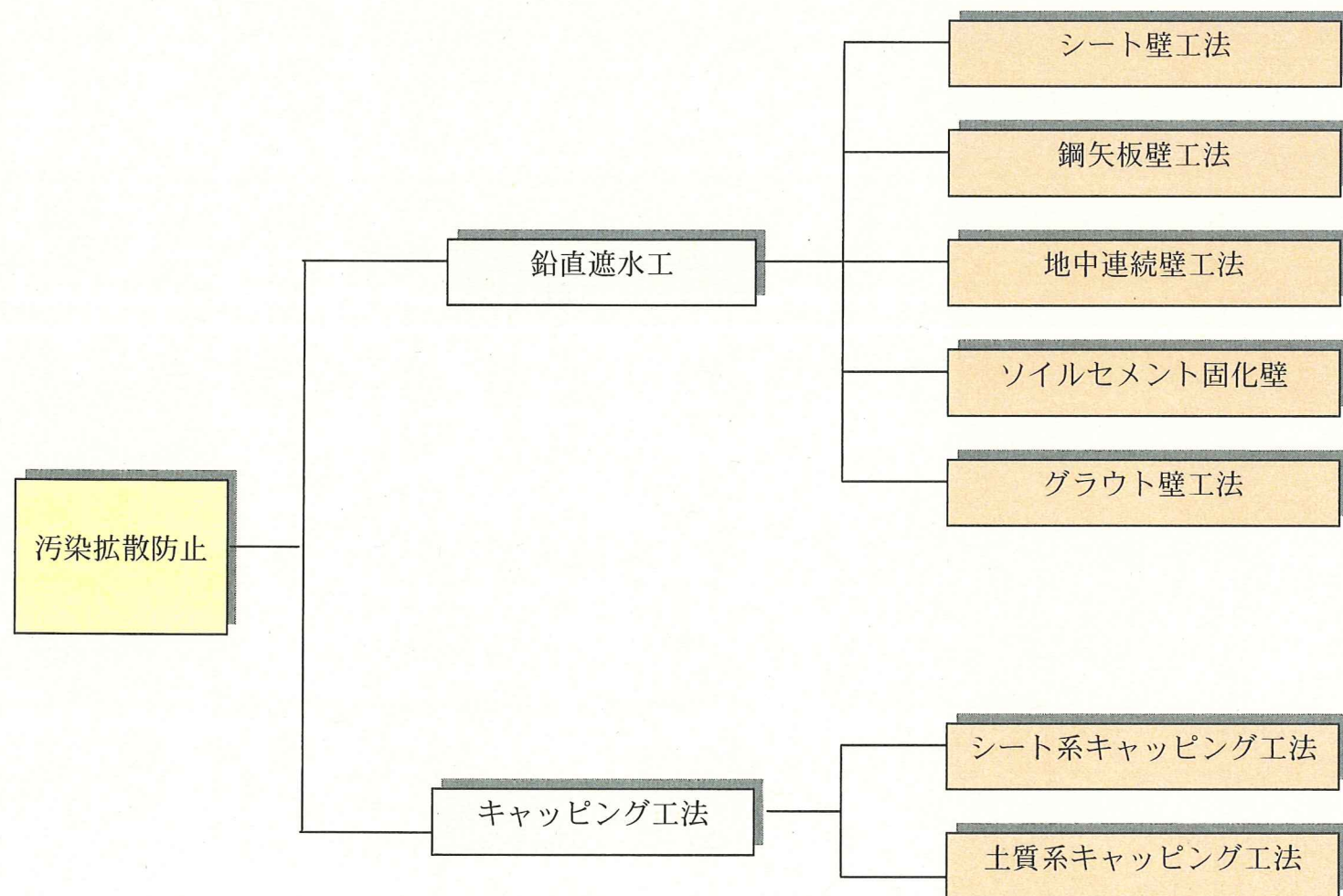


5-2. 対策方法の概要

設定された「対策の目標」を基に、現場の施工条件や地形・地質等の土地による制約条件、対策期間、対策費用などの検討を行い、効果的で経済的に合理性の高い対策方法を選定する必要がある。

調査結果をもとに各種対策工法を組み合わせ、効果的な対策を実施する。

主な対策工法の一覧は次のとおりである。



6. 対策方法の選定

<p>対象：河川水及び周辺地下水</p>	<p>対策：汚染拡散防止</p>
<p>目標：PCB 及び VOC が、環境基準以下であること。</p>	<p>①鉛直遮水工法 対策範囲を囲むようにして、対策深度まで遮水壁を設置し、油分が当該範囲外に拡散することを防ぐ。</p> <p>②キャッピング工法 鉛直遮水工対策後、降雨等の浸透による地下水位上昇に伴う油分の上昇により、地表面に油膜が発生する恐れのある範囲については、シート等によりキャッピングを行う。</p> <p>The diagram shows a cross-section of the ground. At the top, there is a layer labeled '必要に応じ遮水シート等' (Waterproofing sheet etc. as needed). Below this is the ground surface. A vertical barrier, labeled '鉛直遮水壁' (Vertical barrier), is shown extending from the surface down to an '不透水層' (Impermeable layer). Inside the barrier, there is a shaded area labeled '油汚染土壌' (Oil-contaminated soil). To the right of the barrier, the '地下水面' (Groundwater table) is indicated with a downward-pointing triangle symbol.</p>